



写真：たろすけ大分氏 （11月22日撮影）

『冬の華 夜空に大輪！』 待望の根尾川花火6,000発

- 8月の台風11号で延期した「第21回^{ねおがわ}根尾川花火大会」（同実行委員会主催、本巣市、大野町、本巣市観光協会、大野町観光協会、本巣市商工会、大野町商工会、根尾川^{やぶかわ}筋漁業協同組合、岐阜新聞・ぎふチャン後援）が11月22日（土）、揖斐郡大野町と本巣市境の根尾川河畔藪川橋上流で開かれた。音と光の競演が繰り広げられ、晩秋の夜空を華やかに彩り、待ちわびた観衆を楽しませました。

台風の来襲により、いったんは中止となった根尾川の花火大会でしたが、地元から要望があったほか、今年は大野町合併60周年と本巣市合併10周年の記念の年となるため、実行委員会が代替開催を協議し期日を決定したものの。

大勢の人で河川敷が埋まった午後18時半、迫力のワイドスターマインを皮切りに、30分間で3号から8号玉を中心とした迫力満点の花火6千発が打上げられ、見物客らは歓声を上げて夢中に見入っていました。



花火会場となった根尾川。写真は根尾川第1床固

夜空を彩る根尾川の美しい花火

写真：



写真：たろすけ大分氏（11月22日撮影）

豆知識

— 揖斐川・根尾川河道の変遷について —

- ・ 中世末期に、この地域に大きく関わる洪水による河道の変化がありました。

揖斐川本流は、それまで池田町杉野（現在の三町大橋付近）で南向きに流れ、池田町東野・六之井・八幡の東を通り、さらに大垣市赤坂の東を通過、これから下流はほぼ現在の杭瀬川筋を流下していました。この河道が享禄3年（1530）年6月3日の大洪水により、杉野から東南に流れを変え、現在の揖斐川になりました。

更にこの洪水は、それまで長良川に合流する糸貫川を本流としていた根尾川が、本巣市山口の西方・藪地内を突き抜けて南西に向かい、揖斐川に合流する現在の流路・藪川（現根尾川）に変更を生じました。

また、かつての大野郡に根尾川より東の領域が含まれていたのは、本巣郡との郡境より西側に新川道が通ったためです。（出典：KISSO vol.87より）



享禄3年（1530）の河道変化